

# 高商連ニュース

## 高商連第49回定期総会を開催



5月28日(日)に高知民商会館で「高知県商工団体連合会(高商連)第49回定期総会」を開催しました。県下7民商から代議員32人(出席率97%)、評議員6名が出席しました。議長に川島憲彦県連常任理事(安芸)、安丸清常任理事(香美郡)を選出。

東谷勝喜会長は「共謀罪法は現代版治安維持法。物言えぬ社会にしてはいけない。アベノミクスで格差と貧困は拡大した。安倍暴走政治に怒りを持って居る人は多い。学習会で大いに学び、怒りの声をあげましょう。春の運動では読者拡大全国3位という成績でした。地方別活動交流会(6月)にむけて、拡大でも頑張りましょう」と挨拶。

来賓の高知憲法アクション呼びかけ人・田口朝光さん(県労連委員長)、日本共産党高知県委員会・松本顕治さんに臨席いただき挨拶を受けました。



＜新年度三役＞全員留任  
右から、山崎有子会計(高知)、矢野昭雄副会長(高知)、東谷勝喜会長(高知)、山崎龍太郎副会長(香美郡)、入江博孝事務局長(高知)  
＜加藤憲一郎副会長(香美郡)、山西秀行副会長(南国)は仕事等で欠席＞

午前中は、田中肇国民救済会高知県本部会長(元県立大教授・刑法学)を講師に「共謀罪学習会」を行いました。

午後には、広田一元参議院議員(民進党高知県連代表)に来賓挨拶をいただきました。民進党に高商連総会のご案内したのは初めて(民主党時代も含め)。戦争法、共謀罪等で市民と野党の共同が前進していることを受け、さらに、次期衆院選挙も展望してご案内しました。広田さんは商工新聞の読者です。(来賓3名の挨拶は次号以降で紹介します)

入江事務局長から方針案、香美郡民商新事務局員・森永さんから特別決議案(下段掲載)、山崎会計から決算・予算案がそれぞれ提案されました。討論では、各民商と県婦協、県共済会から発言がありました。

方針、特別決議、決算・予算、新役員案の提案全てが全員賛成で採択されました。

特別決議は、総会翌日に、安倍総理、野党各党など関係機関・団体に送付しました。

### ＜総会で採択された2つの特別決議＞

#### 「共謀罪」の創設に反対します

安倍政権は「テロ等準備罪」に名前だけを変えた「共謀罪」法案を衆議院で強行採決し、今国会で成立させようとしています。

共謀罪法案は、①「計画した」とみなした段階での処罰を可能とし、現行刑法の体系を根底から変容させるものであり、②どんな組織でも当局の恣意的認定により、「組織的犯罪集団」とされうるのであり、③自首等による「内通」の促しや警察による盗聴・監視強化につながるなど、市民の思想を取り締まる社会、すなわち戦争をできる国の国内体制づくりを目的とするものです。「節税対策の話し合い」も捜査当局の監視や処罰の対象にされかねない危険性もあります。

秘密保護法により市民への情報を遮断し、安保法により戦争参加を可能にし、共謀罪により監視社会を作る、安倍政権の狙いは明らかです。

戦争する国づくり阻止、立憲主義の回復のたたかいと結び、共謀罪に断固反対します。

#### 市民と野党の共同で衆議院選挙での勝利をめざそう

昨年夏の参議院選挙では、全ての1人区の選挙区で市民と野党の共同候補が実現し、11選挙区で勝利する結果を作り出しました。高知県では自民党候補に7000票差まで追い上げ、高知市など7市町では共同候補の得票が上回りました。市民と野党が力を合わせれば新しい政治をひらくことができるのが具体的な結果を持って証明されました。

市民と野党が本気で共闘する、共同候補の擁立なしに次期衆院選挙で勝利することはできません。戦争法廃止、立憲主義回復、安倍暴走政権打倒の大義に立って、全ての立憲野党が真摯に話し合い、すでに立候補を表明している予定候補者、準備を進めてきた予定候補者を降ろすことも含め、高知1区、2区をはじめ全小選挙区での共同候補を早急に擁立するように求めます。

私たちは、高知憲法アクションの政策を支持し、共同候補の勝利のため奮闘します。

## 地方別活動交流会に向け 拡大運動推進中

### ■交流会にむけた拡大状況 (5/28現在)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	2	0	0
香美郡	9	0	1	1	0	8
南国	4	0	20	2	0	4
高知	10	3	2	2	0	6
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	2	0	0	0	0	2
中村	4	0	3	0	0	3
計	29	3	26	7	0	23

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

## 読者・会員の拡大で元気な民商づくりを進めよう

＜中村＞小野共済会理事長が知り合いの業者に商工新聞拡大。前全商連総会現勢突破まであと7人となりました。船口会長は県連総会で「突破して参加しよう」と呼びかけました。

＜仁淀川＞読者現勢は突破していましたが4月末に購読中止が出て、突破まであと1人です。

＜須崎＞高橋理事(窪川)が友人に読者拡大。「私の記憶では初めての拡大ではないでしょうか」(入江県連事務局長)